

園芸科の実習は自然に触れ合う貴重な機会、リラックス効果やストレス解消効果もある。当番はきつけど達成感がある。体力向上や持って帰る農作物の話で家族とコミュニケーションできる。自分の手で一から農作物を育て、その成長を日々感じることができる。農業が大切な理由がよくわかった。MKさん

「シクラメンきれいね、毎年ありがとう」お褒めの言葉や感謝の言葉をいただけて生産者の気持ち分かる。体力や筋力が増加したくましくなった。きつい実習ではより強い筋肉が見込め、健康な体をつくることができる。草花専攻は同じ実習を続けることが多いので、忍耐力や集中力を高められる。菊農フェスタでたくさん売れることで苦勞が報われ、達成感を感じられる。学校の生き物を調査することで、動植物の生態系や自然の美しさを感じることができた。UMくん

必死で頑張ったこともいい経験。この3年間でクラスメートや先生方との交流を通して、他者とのコミュニケーション、信頼関係を築く力、意見の出し合いでの相手の意見の尊重、自分の意見を伝えることの大切さを学んだ。いい経験を忘れることなく、思い出として記憶していきたい。SYさん



## 菊池農業高校園芸科の思い出

園芸科3年生の卒業論文より一部抜粋

園芸科の楽しい行事ランキング

①菊農フェスタでの販売：忙しいけど協力して会計をし、後輩や同級生とも話をし、お客様からねぎらいの言葉をいただくから嬉しかった。

②野菜や果物の校内外販売：当番で夏の時期になると暑いハウスの実習でないことだけでも嬉しいのに、本館や近所への販売となると嬉しさ倍増。台車に乗せて校内外へ。先生方にも人気ですが、寮のおばちゃん達にも大人気。

③1年生のお疲れ様会：農業と環境で育てた野菜鍋とつきたてのお餅、蒸した栗など1年間の頑張りを労う行事。この時間だけは楽しくてしょうがなかった。こういうイベントで労をいたわってもらえることが嬉しかった。MSさん

友人や先生達との関係を通して学んだことは数えきれない。メロンの管理は高温で厳しいものだったが、チームワーク、協調性、忍耐力、そして周りへの気配りや目上の人への行動や言動など学んだ。MRさん

菊農は地域の方々にオープンな学校。近所の方はいつ何があるかも知られているし、買いに来ていただく。園芸科の良さは最近高い野菜を安く新鮮なまま買えること、作った野菜、花、果樹は持って帰れることもある。大事に育てるときれいに花を咲かせるし、美味しい実をならせるように、自分たちの頑張った成果が目に見えること。植物はあなたの承認欲求を満たしてくれる。MSさん

少人数の生徒と先生方で多くの農作物を相手にするパワフルさは他学科には負けない。専攻分けて深い学びや協力し合える仲間たちができる。経験は将来につながるものを見つけられる。いろんな思考をもつ人と出会って、知見を深め、実習での辛さを分かち合いながら頑張ることによって人間性も変化し、一皮も二皮も剥けていった。今後長い人生の中で生きてくると私は信じている。生涯忘れられない濃い経験ができた。MSさん

花に興味があって入学した。3年間楽しく過ごせた。今まで乗り越えてきてよかった。この学校にしかないことがたくさんあるので、とても誇りに思います。トラブルを乗り越えられたのは深く仲良くなった友人のおかげ。この学校に入学して本当によかった。いくつか後悔はあるけど、それを成長へとつなげていこうと思う。YTさん

果樹や野菜を育てるのが好きで知りたいと思って、入学した。基礎力と実践力、即戦力として活躍できる人材になれる学科。メリハリをつけて時間内に終わらせることを身に付けた。野菜が売れたときはとても嬉しかった。社会人になっても通用していける人になれる学校だと思う。KMさん